

出題のねらい

【I】は文法力と語彙力を問う問題です。標準的な学習事項が確実に定着されているかどうか問われています。【II】は長文空所補充問題です。ここでは文脈の正確な理解に基づいて適切な語を選択する力が試されています。【III】は会話問題です。会話の自然な流れを理解し、やりとりを適切に完成させる力が必要です。【IV】は長文読解問題です。有機農業に関する文章が題材です。問1は文法の知識と文脈の理解を適切に組み合わせて解く必要があります。問2は文章の大意から、やや詳細な情報までを正確に整理して読み取れるかが試されています。

【I】
【解答】 (30点)

1	①	2	④	3	①	4	③	5	①
6	②	7	②	8	④	9	②	10	②
11	②	12	③	13	④	14	④	15	②

(各2点×15)

【解説】

- strictly: 「厳密に、厳しく」
- 否定文のあとに much less を置くと「ましてやーも…でない」という意味になります。
- day に対する関係詞、かつ後ろが完全文なので関係副詞 when を選びます。
- 時条件の if 節では未来のことも現在形です。
- 仮定法過去完了なので①か②になり、意味から①を選びます。
- この for は to 不定詞の意味上の主語を表すために名詞の前に置かれます。
- Although SV.: 「SV であるにも関わらず」
- encourage A to do: 「A に一するよう促す、励ます」
- meet the deadline: 「締め切りに間に合う」
- play a role[役割を果たす]に形容詞の比較級が入った形です。
- those who: 「-する人々」
- fun は不可算名詞なので a lot of で修飾します。very と so は形容詞につくので誤りです。
- such a 形容詞 名詞で「とても一な…」の意味です。
- miscalculate: 「～の計算を間違える」
- voluntarily: 「自主的に」

【II】
【解答】 (20点)

16	②	17	⑦	18	⑩	19	④	20	①
21	⑤	22	⑥	23	⑨	24	⑧	25	③

(各2点×10)

【解説】

- for the first time: 「初めて」
- 成功して銀メダルを手にしているので with[一緒に]を入れます。
- 主語が必要なので名詞になるものを入れます。この部分は手前の sport の説明になっているので関係代名詞 which が適切です。
- particularly: 「特に」
- it is in the winter Olympics that という強調構文の形になっています。
- while -ing: 「-している間」
- an opportunity to do: 「-する機会」
- draw attention to A[A に注意を惹きつける]の受身形です。
- previous: 「以前の、前の」
- reward A with B[A を B で報いる]の受身形です。

【III】
【解答】 (18点)

26	⑥	27	③	28	⑧
29	①	30	⑨	31	⑤

(各3点×6)

【解説】

- 手前では cost too much とっており、スマートフォンに対する不満を述べていることがヒントです。
- 値段が高いという文脈のあと、次の Aki のセリフで reduced price[下がった価格]とあることがヒントです。
- Aki のセリフでは安いスマートフォンを売っている会社がたくさんあると述べられているので何を選ぶべきかが難しいということになります。
- 29・30 空欄直後では安いスマートフォンについて Aki が自分の知っていることを説明しています。最初は安そうに見えるがだんだん値段が上がっていきと述べられています。
- 直後に there があるのでここには場所に関する話題が入ると考えられます。パンフレットを入手して、店員に相談しようというやりとりがヒントになります。

【IV】

【大意】

世界中のさらに多くの土地が有機農業に使われるようになってきています。Worldwatch Instituteによれば1999年以降、3倍の増加がみられ、3700万ヘクタールに及ぶとのこと。「有機農業は殺虫剤や肥料などの化学薬品を使わない農業です。これらに頼るのではなく、有機農業では様々な自然を生かした技術が用いられます。輪作したり畑に堆肥を使ったり、さらには化学薬品ではなく栄養素を自然に土に返すような作物を育てたりするのがその例です。」とWorldwatchの研究者であるLaura Reynoldsは言います。彼女は有機農業の発展に関する新しい報告書の共著者です。

彼女は、有機農業は人々の健康と環境に幅広いメリットがあると言います。さらに有機農業を行っている農家の人たちにも幅広い経済的なメリットがあります。それは作った食品が有機栽培のものであると認定されるとかなり高価な価格をつけることができるからだと言います。

昨年、スタンフォード大学の研究者たちが、有機食品が普通の食品に比べて栄養の面で優れていたり、健康上のリスクが少ないと言える強い証拠は見つからなかったと述べました。研究者たちはこのテーマに関する先行研究の検討に基づいてこの発見をしました。

Reynoldsは、「私はある種の食品に対しては、おそらくシリアルがその例ですが、有機栽培が含まれる栄養価を変えることはないということに同意します。それは有機的に育てることの本質ではありません。食品に含まれる化学薬品や毒性のある要素をみれば、確実に大きな差があります。したがって、もし栄養をたっぷりとしたとして、しかし化学薬品も食べていたとしたら、それがどういふことを十分に把握する必要があるでしょう。その報告は大局を見ているとは思えません。」と言います。

Worldwatchによるとオセアニア地域が有機農業の土地の大部分を占めているようです。オーストラリア、ニュージーランド、太平洋島嶼国に1200万ヘクタールを越える土地がまたがっているのです。ヨーロッパは1200万ヘクタールで2位であり、ラテンアメリカが840万ヘクタールで続きます。アジアは約30万ヘクタールが有機農業に使われており、アフリカは約10万ヘクタールです。その研究はアメリカは「持続可能な農業方法を採用するという点においてほかの国々より遅れている」としています。しかしながら、アメリカにおける有機食品の売り上げは急速に伸びており、2011年には315億ドルに達しています。

有機栽培であると認定されるためには農家はどのように作物を育てているか厳密な記録をとらなければなりません。多くの役所的な手続きや官僚的な制度が絡んで

おり、そのプロセスは高くつく可能性があります。「認可は増えています。はるかに多くの会社や第三者が認可作業を行っているからです。アメリカではその種類は多様で、国際的にも広がっています。農家は有機栽培のニッチな市場があると分かっており、彼らは従来のやり方で育てるよりも多くのお金を稼ぐことができるのです。私に言わせれば有機食品の売り上げはひょっとすると有機栽培に使われる実際のエーカー数よりも早いスピードで伸びています。アメリカではもっとも成長の早い市場の一つなのです。」と彼女は言います。

Reynoldsは有機農業の方法は気候変動の中でその価値を証明しつつあると述べました。「有機農業はたくさんの種類の技術があり、土に栄養素を返し、土が水を保全するのを助けることができますが、それは気候の影響を受ける地域においては非常に重要なことです。気候変動には干ばつの広がりや、極端な暑さのようなより規模の大きいものがありますが、植物はたいていその力に耐えられないのです。しかし、もし土地が有機的に耕されたなら、多くのそういった技術によって農家の人たちは気候変動にかなり対応しやすくなるでしょう。」と彼女は述べます。それらの技術はマルチを使ったり、熱に強い天然の作物やしっかりと根をはる作物を育てることも含まれます。

Reynoldsは有機農業は食の保証の一要素にすぎないと言いました。「私たちはすでに世界の全員が食べるのに十分な量の食べ物を育てています。今むしろ問題なのはその食べ物をいきわたらせることなのです。入手できるように、そして求めやすいようにすることなのです。有機食品は確実に食の生産の長期的な持続可能性に寄与しますが、それは食べ物を全員にいきわたるようにするというパズルの一つのピースでしかないのです。もう一つ大事なものは何を有機栽培で育てるのかということを中心に留めておくことです。もし有機農業の方法を何百万エーカーのコーンや大豆を育てるために使ったら、それは地球規模での食糧保障の役には立ちません。」と彼女は述べます。より多くの農家が有機食品を育てて、競争が増えれば、値段は下がるはずだと彼女は言います。Worldwatch Instituteの報告書は持続可能な食の生産は発展途上国でより重要になってくるとしています。それは「人口増加の大多数が世界の中でも最も貧しい国々に集中しているから」です。有機農業に使われる土地の増加にかかわらず、その合計は地球の農地の1%以下にすぎないのです。

一般入試／英語(後期)

【解答】 (32点)

32	③	33	②	(4点)				
34	③	35	④	(4点)				
36	⑤	37	④	(4点)				
38	③	39	④	40	⑦	41	⑩	(順不同OK) (各5点×4)

【解説】

問1

- (32) (33) in order to be certified が正解。in order to 動詞の原形で「～するために」の意味。be certified 形容詞は「～であると認められる」の意味。
- (34) (35) which is going to be が正解。この which は手前の内容を受ける用法。
- (36) (37) bear in mind what you が正解。bear in mind は「～を心に留めておく」の意味。この what は「もの、こと」という意味の関係代名詞。

問2

- ① 第一段落の一行目から二行目をみると三倍近く増えたのは土地であり、人の数ではないことがわかります。
- ② 第一段落の三行目に照らして (without chemical inputs) 不正解です。
- ③ 第二段落で有機農業のメリットが複数述べられているので正解です。
- ④ 第三段落に有機食品が良いという強い証拠はないと述べられているので正解です。
- ⑤ 第五段落に照らして ten times the size of が誤りです。
- ⑥ 第六段落に有機農業にまつわる苦勞が書かれているので不正解です。
- ⑦ 第六段落三行目の they can get more money …により正解です。
- ⑧ 第七段落によれば天候の変化に対応するのに助けになるのは有機農業の技術なので不正解です。
- ⑨ 第七段落の a lot of these techniques と一致しないので不正解です。
- ⑩ 第八段落の六行目から七行目の内容と一致するので正解です。